

水稲早生新奨励品種 きぬむすめ 栽培暦 (中山間地 5月中下旬植用)

大阪府環境農林水産総合研究所

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上				
生育ステージ				は出緑	硬田活	分			最	幼	穂	出穂	登	成												
				種芽化	化植着	げ			高	穂	ば	穂揃	熟	熟												
				期期期	期期期	つ			分	形	ら	期期	期	期												
							期			げ	成	み														
							期			つ	期	期														
							期			期																
				育苗活着			有効分げつ			無効分げつ			幼穂形成・穂ばらみ			登熟										
水管理				入水代かき			やや浅水			中干し			間断かんがい 湛水			間断かんがい			落水							
施肥				土壌改良資材			基肥						穂肥			穂肥						土づくり				
除草剤							初中期一発剤			後期剤 Z																
病虫害防除				箱施用			葉いもち			穂ニウコ いカンブ もメカノ ちイチユウ			カヨウ メコン ムバカ シイ			ウンカ										

「きぬむすめ」は「ヒノヒカリ」以上の耐倒伏性を持つが、「祭り晴」よりは明らかに倒伏しやすいので特に基肥量の規定を守ること。基肥窒素は10aあたり5～6kg以内とする。穂肥は10aあたり窒素3～4kg以内とし、出穂21日前～10日前にできれば2回に分けて施用する。基肥と穂肥トータルで10aあたり窒素8～10kg以内とする。いもち病耐性も「祭り晴」ほどは強くないので、特に中山間では箱施用剤および本田防除を励行すること。「祭り晴」と違って初めの休眠は浅いので発芽が早く、苗の伸びも「キヌヒカリ」並に早いので育苗時の高温による徒長苗に注意する。出芽器から出すのは祭り晴より1日早めに。刈り遅れのないように適期収穫すること。(穂の初のうち根元の2割程度がまだ帯緑した時期が適期。出穂からおおむね45日くらい)